



令和2年度 福島高等学校入学式

4月10日の金曜日に、本校体育館にて入学式が行われました。



今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策として、在校生は参加することができませんでしたが、歓迎のあいさつを行い、新入生を迎え入れられなかったのがとても残念です。ですが、新入生を迎え入れられるチャンスはまだあります。

これから行われる「歓迎遠足」や「樹祭（文化祭・体育祭）」を福島高校生全員で大いに盛り上げて、「福島高校に入学して良かった」と思ってもらえるように、生徒会を中心に頑張っていこうと思います！地域の皆さまにも、元気のいい福島高校生の姿をお見せできたらと思っています。

74名の新入生の皆さん、入学おめでとう！これから一緒に福島高校を盛り上げていきましょう！

年金トピック

令和2年度 国民年金保険料について

令和2年4月から令和3年3月までの国民年金保険料は月額1万6,540円となります。

保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネットなどを利用した納付、そして便利でお得な口座振替もありますので、ぜひご利用ください。

国民年金(第1号被保険者)の届出を忘れていませんか？

国民年金は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の方が加入する制度です。次のようなときは忘れずに届け出を行います。

- 会社を退職したとき
- 配偶者が退職し、被扶養配偶者でなくなったとき
- 収入が増え、被扶養配偶者でなくなったとき
- 海外に居住し、任意加入する場合
- 海外から帰ったとき

問い合わせ先 市民生活課市民係 ☎ 0987-72-1117 / 都城年金事務所 ☎ 0986-23-2571



● 串間市立図書館
☎ 0987-72-1177
● 開館=午前10時～午後6時
● 休館日=毎週月曜日
● H P = <http://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

〈あの絵〉のまえで(原田マハ/著)
MISSIN(村上龍/著)
あなたが私を竹槍で突き殺す前に(李龍徳/著)
クスノキの番人(東野圭吾/著)
三兄弟の僕らは(小路幸也/著)
私たちの望むものは(小手鞠るい/著)
笑って生きろ(瀬戸内寂聴/著)
図書室のバシラドール(竹内真/著)
静かなる太陽(霧島兵庫/著)
帝国(花村萬月/著)
東京ホロアウト(福田和代/著)
緋色の残響(長岡弘樹/著)
北条氏康(富樫倫太郎/著)



「暴虎の牙」
袖月裕子/著

平成16年、懲役刑を受けて出所した沖が暴走を始めた矢先、かつて大上の薫陶を受けた呉原東署の刑事、日岡が沖に接近し…。『孤狼の血』シリーズ完結編。学芸通信社の配信により『岩手日報』などに掲載されたものを単行本化。



「ぜんぶわかる！
ジャガイモ」
安田守/著、森元幸/監修

ジャガイモに花はない？ポテトサラダ用のジャガイモがある？知っているようで知らないジャガイモの秘密を、200点以上の写真で紹介し、ポテトチップスができるまでも掲載。ジャケットそでにクイズあり。



「園芸」特集
「園芸」特集
日野明子/著

土いじりの快適な時期になりました。基本となる土作りから種、苗を植えるタイミング、その時々の手入れ方法など園芸の手助けとなる本を特集しています。新しい花や野菜作りにチャレンジしてみたいかたがおすすめです。

串間市立図書館の
数ある蔵書の中から、
職員さんオススメの
一冊を紹介！
今回は牧野さんに紹介
していただきました！

おすすめ資料

「落語CD」

図書館には貸し出しできる落語CDが100枚以上あり、三遊亭家、古今亭家、桂家、立川家など有名な落語家もそろえています。車の運転中や家でゆったりしたいときなどにおすすめです。落語にふれたことのない方もぜひ一度お聴きください。



みんなが主役

ふるさと串間のために



串間市大字西方5721-1(旧NSA) ☎・FAX 0987-72-5123
開館日 平日午前9時～午後6時
メール hello@panerp.jp H P <https://panerp.jp>

パナップの運営が変わりました。

今年度より、くしま市民活動交流センターの運営が一般社団法人ひかりに変わりました。私どもは1年前、非営利型の一般社団法人ひかりを立ち上げ、市街地のカフェだった店舗に、就労支援事業所(スコール)を開設しました。雇用されることが困難な障がいのある方に、就労の機会をつくるのが目的です。これをベースに、多様な立場を生きる一人一人が抱える生活上の問題を解決するため、ソーシャルビジネスを展開することも視野に入れてきました。同じ建物内には、くしま市民活動交流センターが入っていましたので、地域づくりに取り組む方々と関わる機会が多くなり、一昨年、くしま市民大学を企画しました。合計6回開催し、延べ280名の人たちが参加。予想を上回る参加者で、仲間をよくしたいという人が、想像以上に多くいたことに驚きました。このような経験から、多様な人たちと関わることで、支え合うことのできる新しいコミュニティができるのではないかと、という期待が生まれました。同時に、人口減少や高齢化という課題にも正面から向き合える手応えを感じたところです。

この期待を、くしま市民活動交流センターの活動として展開していきます。また、これまでの中間支援組織としての市民活動を継承しながら、私たちに何ができるか純粋に考えてみたいと思います。

くしま市民活動交流センターの鈴木千栄子センター長の抱負は次のとおりです。

「センターの真正面は道の駅です。造成が始まっていて、毎日眺めていると、これから串間市が発展していきそうな予感がしてワクワクしています。これまで、同センターの活動にはボランティアとして、くしかフェのスタッフとして関わってききました。楽しく語らって、いろんなことが学べました。フラットと来て、フラットな感じで話せるのがよかったですね。今後とも武田代表と力を合わせて、市民活動が盛んになるよう取り組んでいきたいと考えています」

